真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	広報事業	担当課・係	総合政策部　秘書広報課　広報広聴係
政策名　No	7　「行政経営づくり」～効率・効果アップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	2　開かれた市政の推進		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
市政に関する情報を得られれたと感じている市民の割合	%	73.1					
市公式アプリダウンロード総数（年度末）	件	8,505					
市ホームページの年間総ページビュー数	件	3,275,459					
ケーブルテレビ加入世帯数	世帯	5,982					
FMプラプラのFMもおか登録件数（年度末）	件	33,415					

事業内容

広報事業
広報紙「広報もおか」「市政こよみ」「ウイークリーニュースもおか」の編集発行
市ホームページ・X・LINE、市公式アプリの管理運営
ケーブルテレビ行政情報番組の制作協力（いちごチャンネル協働）
コミュニティＦＭによる市政情報の発信（ＦＭもおか委託）
市役所本庁舎内デジタルサイネージの運営
上記メディアによる迅速かつ効率的・効果的な市政情報の発信

前年度の課題（Check）

「真岡市情報発信ガイドライン」に基づき、各課が所管しているホームページについて「発見しやすさ」、「把握しやすさ」、「情報品質の向上」を３つの軸として改善を提案・支援していく。また、プッシュ型のメディアである各ＳＮＳ等について内容・対象に合わせ効果的に活用していく。ホームページなどのデジタル媒体と融合した広報３紙の在り方についての調査研究を進めていく。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

・広報もおか、市政こよみ、WeeklyNewsもおか編集発行
　ホームページなどのデジタル媒体と融合した広報３紙の在り方の検討
・ホームページ、公式アプリ、公式X、ＬＩＮＥ、公式Youtubeの管理
　各課のホームページの改善提案・支援（３年計画の２年目）
　WeeklyNewsもおかに掲載する記事については、ホームページを作成することを内容としたガイドラインを策定（SNSの活用を含む）
　公式アプリ、公式X、ＬＩＮＥの利用者数を増やすための取り組み
・市長定例記者会見
・オンリーワン事業のとりまとめ
・くらしのガイドブック２０２５の発行
・いちごチャンネルの番組制作
・ＦＭもおかの放送委託
・FMもおかの５周年イベント（11/15、青年女性会館、音楽や寄席等の公開収録）
・庁内デジタルサイネージ運営
・イラストデザイン受託（他の部署から依頼されるチラシ・ポスター等の加工・編集）

【２】結果と課題（Check）

・広報３紙の在り方について検討し、市政ごよみをWeeklyNewsもおかと統合し、費用の削減だけでなく全戸配布となり自治会の負担軽減にも繋がった。
・８課に対しホームページのカテゴリ相談会を実施し、各所管のカテゴリの構成を再構築し、トップページからの来訪をより見やすくする改善を行った。
・効果的なホームページ作成ワークショップを実施し、効果的な情報発信、市民目線のページを作成、SNSの活用についての研修を行った。
・ホームページlabを発行し、ホームページで詳細な情報をわかりやすく整えておき、紙媒体やSNS を使って市民にその内容を知らせることについて周知を行ったが、対応できていない部署も多く、引き続き周知を図る必要がある。
・FMもおかの５周年イベントを開催した。今後も市民への浸透を図っていく。
・ホームページのリニューアルの必要性について判断する必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

・ホームページのリニューアルの必要性について判断するため、現状分析、課題整理、改善方針の策定を実施する必要がある。

（2）長期的な計画で検討すること

引き続き、ホームページなどのデジタル媒体とアナログ媒体（広報紙）が融合した効果的かつ効率的な情報発信の在り方について調査研究を進めていく。